

《 LAB to CLASS 教材活用事例：プログラムシート》

指導者名 人見道夫 (ネイチャーガイド 風の道)

プログラム名 (テーマ)：イルカのふしぎ

ゴール：イルカをもっと好きになってもらう

ねらい：イルカをもっと好きに、イルカの棲む海を好きに、海を含む自然を好きに、そして、好きなモノを大切にしたいと思う気持ちを育む。

日時：2019年 11月24日 13:00～15:00

会場：新渡戸文化学園 10号館アフタースクール内

対象：小学生2～6年生 16名

指導者：講師 1名

協力者：アシスタント 3名

準備物：《鳴き声仲間探し》《イルカを知ろう》《実物大のイルカをつくろう》教材一式

パソコン、プロジェクター、目隠し用バンダナ、スクリーン、ドライヤー、

セロテープ、両面テープ、ハサミ

*「教材」はLAB to CLASSのWEBページからダウンロードできます。

その他：全体の流れとして、はじめに身体を動かすもの(アイスブレイク、鳴き声仲間探し)、次に頭を使うもの(イルカを知ろう)、最後に集中力を使うもの(実物大のイルカをつくろう)として、子供を落ち着かせ集中力が途切れないように配慮した

進行表 120分

所用時間	内容		詳細	準備物 (備品)
10分	導入	挨拶	団体・プロジェクト・講師、アシスタント自己紹介	
10分		緊張をほぐし、皆で楽しむ雰囲気をつくる	・「みなさん!〇〇してください」 ・「みんなでジャンプ」 ・身体を動かすことで緊張をほぐし、みんなで楽しくイルカ仲間になろうという雰囲気づくり	
15分	鳴き声仲間探し	イルカの世界を疑似体験	目隠しをして、音だけを聞いて仲間を探すプログラム。 聴覚を使うイルカの世界を疑似体験する ※低学年の男の子が大きな声を出し続け他の子供たちは聞きづらかったかも。スタート時にまとまり過ぎていたため動きがあまり無かった、全体をなるべく広げて始めた方がベター。おとなしい子供はスタッフがフォローして誘導が必要	目隠し用バンダナ 教材(鳴き声カードを人数分)
15分	イルカを知ろう	イルカの暮らしを想像し、そして、学ぶ	イルカについて三択クイズ形式で学ぶ ・イルカはどうやって眠るのか ・イルカの仲間はどれだ ・イルカの生活は、単独か群れか ※自由に自分で考える、想像することの楽しさを味わってもらうために、正解探しよりも自分で考えたことを大切に選ぶことを優先しました。 ※一般的に正解とされることも説明しましたが全ての選択肢が正解となりうる解説をしました。	教材(イルカを知ろうパネル)
5分	休憩		水分補給	
5分	イルカ画像上映		イルカのモデルとなった御蔵島のイルカ画像を上映 ヒレの位置、動き方を確認	PC、プロジェクター、

40分	実物大のイルカをつくろう	完成度の高さを求めるのではなく、実物大のイルカに触れると言う貴重な体験を楽しんでもらうことを優先した	<ul style="list-style-type: none"> ・1グループが4～6名の3グループに分ける ・今回は2～4年生、4年生、4～6年生の三つに分けた ・2年生には保護者が一緒に参加 ・各グループにスタッフ一名が着く ・小学生向けに胴体、胸ビレ、背ビレ、尾ビレ、吻、それぞれ完成されたパーツがバラバラの状態スタート ・吻をつけると膨らませづらくなるので吻をつけるのは最後 ・眼、噴気孔、生殖器はクレヨンで描く ・ドライヤーは必ず冷風 ・各グループヒレが着いた頃に、噴気孔、生殖器の場所がわかる動画を上映 <p>※終盤に集中力が落ちてくるので動画を流すことでリズムをつけた。</p> <p>※同様に以下の事項を特に飽きている子に届くように全体に投げかけた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イルカのお腹の色の違いはなぜ？ ・尾びれの動き方 ・つくっているイルカに名前を付ける、男の子、女の子 <p>※全員に均等に作業があるわけでは無いので、飽きないように上記のような配慮が必要</p>	<p>教材（実物大イルカ 3セット）</p> <p>ドライヤー、ハサミ、セロテープ、両面テープ 各3セット</p> <p>イルカの水中動画、または写真数種</p> <p>イルカは再利用のためプログラム終了後にスタート状態(パーツ毎)に分解。</p>
10分	まとめ		<p>■保護者へ向けて</p> <p>「自然を大切にしたい」という気持ちを育みたい、それにはまず好きになる事、興味を持って不思議を感じ、自分で考えて調べて詳しくなり、さらに好きになり、そして大切にしたい、と思う気持ちに繋げたい。</p> <p>■子供たちへ向けて</p> <p>たくさん遊んで、興味を持って不思議を感じて、いろいろ想像して、また遊ぶ、そうするともっとおもしろくなるよ！</p>	
10分	記念撮影		イルカの絵、面白かったことをA4にかいてもらう 参加者全員、作ったイルカ、A4紙を入れて記念撮影	A4用紙とペン 油性ペンは裏写りに注意

●ふりかえり・改善点やアイデアなど

- ・鳴き声仲間さがし：元気で大きな声で鳴き続ける子供がいると他の音が聞きづらくなる、おとなしい子はスタッフがフォロー誘導する必要がある
- ・イルカを知ろう：三種類の意見提示をスタッフ三人がそれぞれ博士になって子供たちにアピール、子供たちが真剣に聞いてくれ飽きなかったのは良かった
- ・イルカづくり：グループ毎にスタッフがつき子供たちを誘導したので全体進行を合わせやすく、やりやすかった
- ・小学生の場合は集中力が切れないように問いかけ、画像を見せるなどの工夫が必要
- ・保護者は見学の形式でしたが、保護者にも参加してもらい子供の頃の様子に遊び、興味を持ち、不思議を感じ想像して楽しみ、家に帰ってからも同様の話題で話が出来れば、実際に海へ行こう、出かけよう！という行動へつながりやすくなるのでは